

図1 (卷首)



図2 (部分)

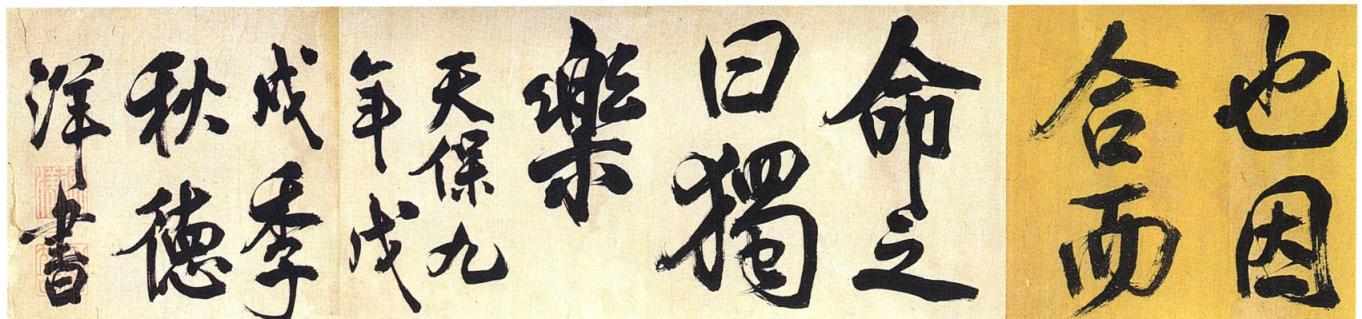


図3 (卷末)

迂叟「平日讀書、上師」聖人、
 下友「群賢」、窺仁「義之」原、
 探「礼楽」之緒、「自未」始有「
 形之前」既四「達無」窮之「
 外、事」物之「理、拳」集目「
 前、可」者学「之、未」至夫「
 可、何」求於「人、何」待於「
 外哉、」志倦「体疲、則投」竿
 取「魚、執」枉采「葉決」渠灌「
 花、操斧」剖竹、「濯熱」鹽水、「
 臨高縱」目、「逍遙」徜徉、「惟意」
 所適、「明月」時至、「清風」自
 来、「行無」所牽、「止無所」泥、
 耳「目肺」腸、卷「為己」有、
 踴々「焉、洋」々焉、「不知」天
 壤「之間、復有」捉何樂「可以」
 代此「也、因」合而「命之」曰
 獨「楽、」
 天保九「年戊」戌季「秋、德」洋書

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

志士たちの書画

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 18

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 横溝廣子
発行 宮内庁
平成十年一月十日発行